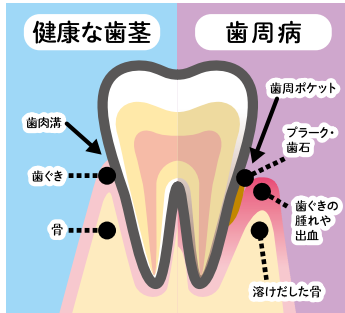


歯周病ってどんな病気？ 歯周病を知って、予防と検診をはじめましょう！

歯を支える骨が溶かされる病気！？ 一度溶かされた骨は元に戻らない！？



“歯周ポケット”という言葉をご存知ですか？

歯の周りには“歯肉溝”と呼ばれる浅い溝があります。

この溝は、歯周病菌から歯や歯の周りの組織を守るために大切な溝です。

しかし、歯肉溝に歯周病菌がついたままだと炎症を起こし、溝がどんどん深くなります。この深くなった溝（4mm以上）のことを“歯周ポケット”と呼びます。

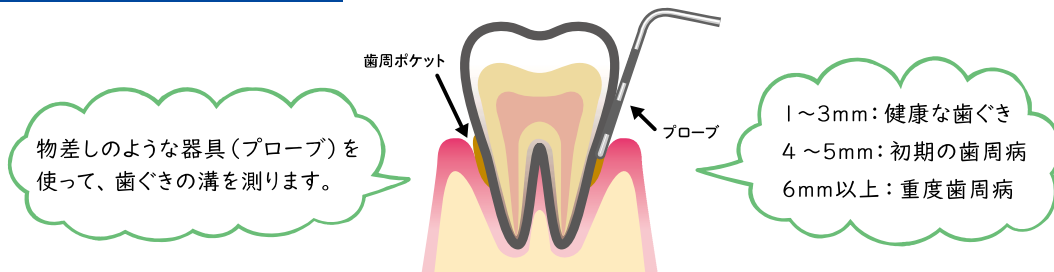
歯周ポケットの中で歯周病菌が増殖し、炎症がどんどん広がっていくと、歯を支えている周りの骨が歯周病菌や歯周病菌が出す毒素により次第に溶かされます。進行してひどくなると歯が抜けてしまいます。

溶かされた骨は元通りにはなりません。



歯周病（歯周炎）の進行

歯周病を予防するためには？



他にも、“エックス線（レントゲン）写真”によって歯を支える骨の状態を調べたり、

“歯の周囲の汚れ（プラーク）”の付着状況を調べたりし、総合的に判断します。

歯周病を防ぐには毎日の歯みがきや、定期的な歯科健診を受け、健康管理をすることが大切です。

歯周病は、日本人が歯を失う最大の原因です。

静岡市では40歳以上の市民を対象に「40歳からのおとなの歯科健診（歯周病検診）」を行っています。

【健診内容】

- ・歯ぐきの検査（代表歯6本の検査）・・・歯周ポケットの深さ、出血の有無（炎症があるか）
- ・むし歯の有無
- ・噛み合わせの確認 など

実施歯科診療所
一覧はこちら

